

## 医学系研究に関する情報の公開について

(31-116)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	Peritoneal dialysis catheter left without active use for 12 years.
所属科*	腎臓内科
研究責任者*	山内 淳
研究実施期間	開始 西暦 2020年 3月 1日 ~ 終了 西暦 2022年 3月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	慢性腎不全 ( 1症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2003年 1月 4日 ~ 至 西暦 2020年 2月 29日
研究概要*	腹膜透析を施行する際には事前に専用のカテーテルを腹腔内に挿入する必要がある。今回、腎不全の進行により腹膜透析が必要と判断し、カテーテル挿入を行うも、その後腎不全の進行が極めて緩徐になり、長期間カテーテル使用を免れた症例を経験した。このような事象は非常に稀であり、その間に生じたカテーテルの変化を組織学的検討を交えて明らかにする。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署(施設・研究室)で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院腎臓内科 長門谷 克之 堺市北区長曾根町 1179-3

\*記入必須項目